

春の西山ファミリー環境探検隊



日時 2019年4月20日(土)
場所 長岡京市西代里山公園～西山キャンプ場
天候 快晴
主催 西山森林整備推進協議会
参加者 小学生と保護者 30名
スタッフ 長岡京市職員、長岡京市里山再生フォーラム、府立大学学生、noi-Kyoto 12名

親子を中心とした観察会で低学年が多かったようです。出発前、清水代表のあいさつで、草木の一点一点見るだけでなく周りを見回し全体がどういう状態か雲は風はという楽しみもある。

今、竹林が落葉の時で、木々の若葉と真逆で黄色くなっていました。外にクスノキも今がその時です。という話がありました。



総勢50人！オリエンテーションのあと出発！

スタッフと参加者それぞれ3つの班に分けて時間差をもうけて出発です。アカメガシワの赤い新芽が顔を出していました。手持ちの紙に強く押し当て木の葉スタンプを楽しみました。子供たちより親の歓声が大きかったようです。

道端にニガナの黄色い花がいっぱい。どんな味か噛んでみてと勧めましたが反応は鈍かった。

頭上にカマツカの白い花が咲き、タチツボスミレ、ムラサキケマン、カキドウシ等の紫色の花が見られました。

途中、サツマイモの苗を植える準備がされており、きれいに整った畑で子供たちが体験する。畑の土手にイタドリがニョキニョキ、食べごろです。これは子供たちも喜んで味わっていました。スタッフに「塩頂戴」「塩ください」と賑やかでした。



大歓迎してくれたこの時期の里山の主役コバノミツバツツジ

ちょうど、ウワミズザクラのブラシ状の白い花が満開で「これも桜ですか。」と驚いておられました。

昼食後、店開き、すみれクイズ等をやり時間通り終わりました。できれば時間も予定もゆるく。おおざっぱで子供の興味と自分の好きなところを相互にやり取りしながら、少人数で歩きたいなあ。

人数の多い団体での活動となると、そうはいきませんですねえ。

(近藤)



里山の観察開始！



チャルメルソウ「夏には姿を消していくんやで・・・」



ツルカノコソウ



ナガバタチツボスミレ



トガリアミガサタケ



ヒメウラナミジャノメ



ウグイスカグラ



「店開き」道中見たものをワイワイ言いながら皆で共有！子供たちの興味と知識欲は尽きません
実物に勝るものなし